

名古屋大学 素粒子宇宙起源研究所 フレーバー物理学国際研究センター (FlaP)

特任助教公募

(公募番号 KMI-2024-1)

1. 募集人員：

特任助教 1名

2. 所属：

名古屋大学 素粒子宇宙起源研究所 (KMI) フレーバー物理学国際研究センター (FlaP)

3. 研究・職務内容：

(雇入れ直後)

KMI フレーバー物理学国際研究センター (FlaP) に所属する教員と協力して、同センターで進めるフレーバー物理 (B・タウ崩壊、トップ・ヒッグス、ミューオン、ニュートリノ、中性子などに関する高精度・高感度測定) に関する実験研究および将来に向けた研究 (装置開発やデータ解析技術などに関する研究) を進める。理論研究を含む KMI の他グループとの連携を進める。KMI 及び FlaP の運営 (セミナーの開催や国際会議の主催、情報発信など) を担う。

(変更の範囲)

東海国立大学機構が指定する業務

4. 勤務地：

(雇入れ直後) 素粒子宇宙起源研究所

(変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所

5. 応募資格：

着任時に博士号を有していること。

6. 任期：

採用日～2025年3月31日まで

ただし、更新基準に基づく評価のうえ、年度ごとに更新する可能性あり。

※業務処理、判断・対応、責任感、勤務態度、協調性、法令規程等の遵守及び法人の予算、業務量等により判断

更新する場合でも、最長、2028年3月31日まで。

最終雇用年齢は65歳に達した年の3月31日までとする。

7. 待遇：

東海国立大学機構 (以下「機構」という) 職員就業規則の定めによるほか、給与は機構において定める年俸制が適用される。

8. 着任時期：

採用決定後、できるだけ早い時期

8. 提出書類：

- (1) 表紙（カバーレター）
- (2) 履歴書
- (3) これまでの研究内容
- (4) 業績リスト（主要論文3編以内を明記）
- (5) 研究計画及び運営に関する抱負
- (6) 着任可能時期
- (7) 類型該当性の自己申告書（様式についてはその他の項を参照のこと）
- (8) 推薦書もしくは意見書2通

9. 応募締切

2024年8月19日（月）必着

10. 応募書類提出方法：

提出書類(1)～(7)をPDFファイルの形式とし、Academic Jobs Onlineにより電子的に提出してください。また、提出書類(8)については、同ファイル形式で、評価者が直接Academic Jobs Onlineにより提出してください。なお、提出書類および推薦書は、日本語又は英語のいずれも可とします。

(提出先) <https://academicjobsonline.org/ajo/jobs/25041>

11. 問い合わせ先：

〒464-8602 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 素粒子宇宙起源研究所
フレーバー物理学国際研究センター（FlaP） センター長 飯嶋 徹
メールアドレス：ijjima@hepl.phys.nagoya-u.ac.jp

12. その他：

名古屋大学では、2020年代に大きな進展が期待されるフレーバー物理に関する国際的な研究教育を推進することを目的として、大学院理学研究科「タウ・レプトン物理研究センター」を発展解消し、2023年4月1日に、KMIのもとに「フレーバー物理学国際研究センター（FlaP）」が発足しました。KMIおよび同センターの概要、構成メンバーについては <http://www.kmi.nagoya-u.ac.jp/> をご覧ください。

- ・本学では業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、等）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用いたします。
- ・提出書類は、本選考以外の目的には使用しません。
- ・面接等来校に要する交通費は、支給しません。

・2021年11月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員および学生への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募する際には、「類型該当判断のフローチャート」（別紙）に基づく「類型該当性の自己申告書」（様式1）の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」を提出いただきます。様式は、以下のURLからダウンロードしてください。

<https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/yN4CqRgjKnDeJwa>